

留学だより Vol.3

皆さんこんにちは、尾形です。持ってきた3か月分の薬がなくなり、時の流れを感じています。日本人、タイ人留学生も帰国してしまいました。しかし誕生日が同じだと判明したタイの子とコムローイ祭りに行く、という夢が一つ増えたのでとても楽しみです。コムローイ祭り、調べたら行きたくなると思います。現地で会いましょう。

お別れディナー



そんな日本人留学生のお別れディナーに、別れの時はまだまだ先の私も参加しました。私の学校には日本人留学生が合計で7人、約2か月の1term、タイ人留学生がたくさん、2週間の短期で、留学をしていました。学校にニュージーランド、日本、タイの国旗が掲げてあります。



このお別れディナー、皆で食べ物を持ち込む形式だったので全てお肉だったらどうするのだろうかと思っていましたが、いい感じになりました。とても美味しく、最後まで食べ続けていました。ちなみにその後デザートもあり最高の夜でした。ご飯の後はかくれんぼ(ディズニーのモンスターズインクのアトラクションのようにライトを当てると勝ち)、そして4人のうち1人に電流が流れるという悪魔のような遊びをしました。私は怖気づいて使えなかったのですが、どこかで見つけたらぜひとも家族へのお土産にしようと思います。



休暇

時が経ち、term 1 も終わり、約 2 週間の休み期間に突入しました。日本で夏休み、冬休みという休みの代償に大量の宿題がほぼ必ずあります。しかしこちらの学校には長期休みにおける宿題という概念がありません。そのおかげで、あまりに勉強をしないと自ら勉強したいという欲が出てくることに初めて気づきました。良い気付きです。そのような訳で皆思い思いに羽を伸ばしました。と言いたいところなのですが、

退屈だったと言っている人も何人か見かけました。遠出をするには車が必須なのでまだ免許を持っていない人にとっては少し退屈なのかもしれません。手軽に移動できる日本の電車は素晴らしいです。(こちらだと車で 1 時間のところを電車で 3 時間以上かけて移動します)



今回の休みで、私はニュージーランドの首都に行ってきました！みなさん首都、どこだと思いますか？オークランドだと思った方、私もそう思っていました。日本からの直行便が出ている、且つ国最大の都市であるので日本人に馴染みがあるのだと思います。しかし首都はウェリントンです。オークランドを東京とすれば静岡のような街で、風が強いところを除けばとても良い街でした。Te papa などのミュージアムや、古着屋、雑貨屋などのお店が立ち並び、

ニュージーランドを知るにしても、買い物をするにしても私が今まで行ったニュージーランドの都市の中では最適な街でした。今回宿泊させてもらったホストファザーのご友人宅が丘の上であり、街からの帰宅はかなり辛かったです。いい運動になりました。丘が多く、丘に建物を建てているためこのような点が出てきてしまうのですが、昔は自分の家に行くためのリフトが設置されていたそうです。子供心がくすぐられますね。このような素敵な街にはぜひとも頻りに遊びに行きたいところですが車で 7 時間(東京から大阪の距離)かかるので、もしかしたら最初で最後だったかもしれません。新幹線の素晴らしさも実感しました。ウェリントンを満喫することができたので良い秋休みだったと思います。

ウェリントンからの帰り道、家族が増えました。旅行中にホストマザーがブリーダーの SNS を見て「この子可愛い」と言っているのは聞いていましたが、まさかすぐに迎え入れるとは思っていませんでした。日本だと約半数がペットショップからになりますが、こちらでは大体がブリーダーに会いに行き家族に向かい入れます。ペットショップは魚などがいる場合もありますが、ペット用品の販売がメインになっています。



←パッケージがあまり牛乳らしくなくカフェオレ系統の味を想像していましたが、帰り道に買って飲んだところ、一番のお気に入り牛乳になりました。チョコレートの味が濃すぎずに牛乳の味も感じる事ができ、さっぱりしているのにどこか濃厚で、とてもおいしいです。ただ近くのスーパーに 500ml しかなく、値段も4ドルなのでこの 375ml を探してコンビニめぐりをしようと思います。ちなみに近くのコンビニではこのサイズで 4.2 ドルでした。スーパーに通い詰めることになりそうです。

新学期が始まりました。

初日に新しい校長先生が来るとのことので式典がありました。休み明け初の学校であったからか、登校した生徒の数は少なく、ホールは大分余裕がありました。多くのマオリ文化を感じることができる式で、使用言語の9割ほどはマオリ語でした。校長先生含めた新しい教職員の方々が入場される際には、歌に合わせて、肘を固定して両手を上げ下げしました。手を挙げたときは手をひらひらさせます。想像をすることができるでしょうか。そして先生同士で鼻と鼻を付けた挨拶、hongiri も行っていました。握手やハグなどと同等の意味合いがあり、実際に式では握手をした後に hongiri を行っていたり、握手のみであったりと人によって異なっていました。またスピーチはほぼマオリ語で、教職に就くためにはマオリ語をマスターしていないといけないのかと思うほどでしたが、実際は友人、ホストマザー(教員)なども何を言っていたのか完璧にはわかっていなかったそうです。マオリ語は100万人以

上の話者に対して流暢に話すことができるのは5万人ほどであり、語学の難しさを感じますね。私たちも完璧を追求しすぎることなく、少しでも話すことができれば自信をもってバイリンガルだと、積極的に公言していきましょう。

新学期2日目、早速休日です。ちなみに火曜日です。起床時間は朝の4時30分、家を5時過ぎに出発しました。気温は5℃でした。4月25日が祝日になっている理由は、ANZAC Day (Australian and New Zealand Army Corps)だからです。この日は終戦後に、第一次世界大戦で遠征したオーストラリアとニュージーランド軍の戦没者の追悼日と定められ、現在は戦争に関わった全ての人々を追悼する日とされています。この写真のようにポピーの花を服の左胸につけ、演奏とともに軍服を着た方たちと行進しました。町の時計台についてはスピーチが行われ、花冠を捧げ、国歌を歌いました。その後は集合場所のレストランであたたかい飲み物や食べ物をもらいました。朝ご飯を食べてから行ったのにも関わらず、また食べてしまいました。ニュージーランドの国家 (Aotearoa/God Defend New Zealand)は非常にきれいな歌なので、みなさんにも是非1度聞いてほしいです。気分が沈んでいる際などにおすすめです。



ニュージーランドでの予想外

最期にこちらで予想を裏切られたことを紹介します。この写真を見てください。日本人であればおおよその人がこれはアメリカンドッグであると認識すると思います。セブンイレブンなどでもアメリカンドッグという商品名で販売されているはずですが、このアメリカンドッグ、ソーセージの周りに甘い衣がついている、すなわちパンケーキをソーセージに巻き付けたような食べ物だと思うのですが、食べてみてびっくり、一切甘くありません。ソーセージの味が95%です。一度目は信じられず、別のお店で再度購入しましたが、同様に甘い衣はついていませんでした。理想のアメリカンドッグになかなか巡り合えないので、探すことは諦めて、家で作って食べようと思います。予想外の食べ物は結構あるので、また紹介したいと思います。



ここまで読んでくださりありがとうございました。次回もお楽しみに～